



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ベネフィットジャパン 上場取引所 東  
コード番号 3934 URL <http://www.benefitjapan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 寛  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 松下 正則 TEL 06 (6223) 9888  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,553	4.7	480	34.2	483	39.5	432	371.2
2023年3月期第2四半期	6,257	8.5	358	△54.0	346	△56.5	91	△82.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 432百万円 (371.2%) 2023年3月期第2四半期 91百万円 (△82.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	72.71	72.34
2023年3月期第2四半期	15.43	15.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	10,938	7,001	64.0	1,181.22
2023年3月期	10,182	6,670	66.8	1,117.32

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,001百万円 2023年3月期 6,670百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	9.00	9.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.5	840	△17.9	838	△17.8	542	△3.2	91.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	5,973,848株	2023年3月期	5,962,454株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	46,747株	2023年3月期	1,894株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,947,845株	2023年3月期2Q	5,948,810株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料については、決算発表後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方法の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰、円安の影響など依然として先行き不透明な状況が継続しています。

このような状況の中、当社グループ売上高は、契約回線数が前年同期末比3.7%増加したことや端末の値上げ等で増収となりました。経常利益は、インターネット通信サービス事業での新サービス及び販路拡大への先行投資を行ったものの、ロボット事業の人員及び販売コストの適正化を図ったことで増益となりました。なお、2023年7月に投資有価証券売却益として特別利益167,800千円を計上しています。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高6,553,917千円（前年同期比4.7%増）、営業利益480,397千円（同34.2%増）、経常利益483,526千円（同39.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益432,474千円（同371.2%増）、契約回線数231,400（前年同期末比3.7%増）となりました。

なお、当社グループは、お客様に幅広いインターネット通信サービスを提供しています。このことから、第1四半期連結会計期間より「モバイルWi-Fi事業」としていたセグメント名称を「インターネット通信サービス事業」に変更しています。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### (インターネット通信サービス事業)

インターネット通信サービス事業は、「ONLYMOBILE」、「MATCHMO」、「ONLYCUSTOMIZEPLAN」（代理店向け）、モバイルWi-Fiのレンタル事業やMVNE事業を総称したサービスで、また、それらの付帯サービスとして、インターネットオプションサービスやコンテンツ等の「ONLYOPTION」の提供を行っています。

コミュニケーションセールス部門においては、「ONLYMOBILE」の端末の値上げ及び新サービス「MATCHMO」の新規獲得件数増により売上高が増加したものの同サービスへの先行投資で減益となりました。

パートナー部門においては、家電量販店、ドラッグストア、ホテルなどの多様な販路開拓に注力し、売上高が増加したものの販路拡大のための組織体制の整備に伴う先行投資で減益となりました。

MVNEにおいては、提供した外国人労働者、留学生対象のプリペイドSIM（1年利用）の販売数が拡大しました。

モバイルWi-Fiのレンタルにおいては、旅行需要の回復に伴い売上高及びレンタル件数ともに引き続き堅調に推移しました。

その結果、インターネット通信サービス事業は売上高5,076,784千円（前年同期比6.0%増）、営業利益762,619千円（同27.6%減）、契約回線数206,300（前年同期末比1.4%増）となりました。

#### (ロボット事業)

ロボット事業は、コミュニケーションロボットとSIMカードをパッケージ化した「ONLYROBO」を販売し、その付帯サービスとして「安心保障サービス」や「ロボホンPrime」等の「ONLYOPTION」の提供を行っています。

パートナー部門の販路が減少したものの、端末の値上げ及び保有件数増により売上高は増加し、人員や販促費の適正化、ポップアップストアと連動した地方テレビCM施策等により営業損益も大きく改善しました。

その結果、ロボット事業は売上高1,364,107千円（前年同期比2.9%増）、営業損失61,306千円（前年同期は営業損失506,574千円）、契約回線数25,100（前年同期末比26.4%増）となりました。

以上のことから、当第2四半期連結会計期間末における契約回線数及びその他サービス利用者数は以下の通りとなりました。

	2023年9月末	2022年9月末	前年同期末比
契約回線数 (回線)	231,400	223,200	3.7%増
インターネット通信サービス事業	206,300	203,300	1.4%増
ロボット事業	25,100	19,900	26.4%増
その他サービス利用者数 (人) (※)	82,400	82,700	0.3%減

(※) その他サービス利用者数はONLYOPTION、天然水宅配、スマートホームサービスの合計になります。なお通信サービスと同時に申込されている顧客については契約回線数と重複でのカウントになっております。

(その他)

その他については、主に天然水宅配事業を行っており、ハウスベンダー事業は撤退しました。天然水宅配事業につきましては、営業活動を縮小しているため保有顧客数が減少し、売上高、営業利益とも減少いたしました。

その結果、売上高113,025千円（前年同期比20.3%減）、営業利益19,659千円（同52.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は10,071,594千円となり前連結会計年度末と比べ761,732千円増加いたしました。これは、主として現金及び預金の増加404,652千円、売掛金の増加431,733千円、割賦販売による割賦売掛金の増加100,715千円、商品の減少98,721千円等によるものです。固定資産は867,077千円となり前連結会計年度末と比べ5,544千円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は3,158,716千円となり前連結会計年度末と比べ595,333千円増加いたしました。これは、主として短期借入金の増加50,000千円、未払法人税等の増加219,896千円、賞与引当金の増加52,154千円等によるものです。固定負債は778,724千円となり前連結会計年度末と比べ170,310千円減少いたしました。これは、主として長期借入金の減少167,429千円によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、自己株式の取得による減少54,104千円、配当金の支払いによる減少53,645千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(432,474千円)により、前連結会計年度末と比べ331,164千円増の7,001,231千円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ404,652千円増加し、当四半期連結会計期間末には、3,026,576千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの主要な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は544,961千円(前年同四半期は29,357千円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上651,326千円による資金の増加と、売上債権の増加額532,448千円、法人税等の支払額94,583千円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は154,530千円(前年同四半期は284,362千円の支出)となりました。これは主として、投資有価証券の売却による収入172,800千円、差入保証金の回収による収入21,274千円、有形固定資産の取得による支出15,702千円、無形固定資産の取得による支出14,812千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は294,840千円(前年同四半期は217,069千円の収入)となりました。これは主として短期借入れによる収入300,000千円、短期借入金の返済による支出250,000千円、長期借入れ返済による支出167,421千円、自己株式の取得による支出54,374千円、配当金の支払額53,645千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,622,424	3,027,076
売掛金	1,158,366	1,590,099
割賦売掛金	5,159,897	5,260,612
商品	543,780	445,058
その他	105,125	189,228
貸倒引当金	△279,730	△440,480
流動資産合計	9,309,862	10,071,594
固定資産		
有形固定資産	241,176	211,001
無形固定資産		
のれん	109,673	73,115
その他	93,885	92,424
無形固定資産合計	203,558	165,539
投資その他の資産		
その他	633,533	696,295
貸倒引当金	△205,647	△205,759
投資その他の資産合計	427,886	490,535
固定資産合計	872,621	867,077
資産合計	10,182,483	10,938,672
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	255,231	257,150
短期借入金	800,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	349,992	350,000
リース債務	482	482
未払法人税等	73,125	293,022
賞与引当金	87,846	140,001
役員賞与引当金	—	11,499
株主優待引当金	1,127	—
その他	995,577	1,256,559
流動負債合計	2,563,382	3,158,716
固定負債		
長期借入金	895,012	727,583
リース債務	803	562
資産除去債務	23,943	21,303
その他	29,275	29,275
固定負債合計	949,034	778,724
負債合計	3,512,417	3,937,441
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	652,078	655,298
資本剰余金	275,458	278,678
利益剰余金	5,743,034	6,121,864
自己株式	△506	△54,610
株主資本合計	6,670,066	7,001,231
純資産合計	6,670,066	7,001,231
負債純資産合計	10,182,483	10,938,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,257,764	6,553,917
売上原価	2,849,428	2,862,597
売上総利益	3,408,336	3,691,320
販売費及び一般管理費	3,050,320	3,210,922
営業利益	358,015	480,397
営業外収益		
受取利息	26	25
資産除去債務戻入益	—	2,640
雇用調整助成金	927	—
貸倒引当金戻入額	278	280
受取手数料	2,324	4,000
その他	657	1,901
営業外収益合計	4,214	8,848
営業外費用		
支払利息	3,311	3,974
事務所移転費用	12,360	—
支払手数料	—	270
リース解約損	—	1,474
営業外費用合計	15,671	5,719
経常利益	346,557	483,526
特別利益		
投資有価証券売却益	—	167,800
特別利益合計	—	167,800
特別損失		
貸倒引当金繰入額	119,028	—
特別損失合計	119,028	—
税金等調整前四半期純利益	227,529	651,326
法人税、住民税及び事業税	153,902	301,196
法人税等調整額	△18,150	△82,344
法人税等合計	135,752	218,852
四半期純利益	91,777	432,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,777	432,474

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	91,777	432,474
四半期包括利益	91,777	432,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,777	432,474

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	227,529	651,326
減価償却費	28,132	53,547
のれん償却額	36,557	36,557
株式報酬費用	7,579	7,929
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,599	52,154
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,500	11,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	176,226	160,861
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△1,071	△1,127
受取利息	△26	△25
支払利息	3,311	3,974
事務所移転費用	12,360	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△167,800
売上債権の増減額 (△は増加)	△32,413	△532,448
棚卸資産の増減額 (△は増加)	41,735	98,721
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,059	1,919
未払金の増減額 (△は減少)	△6,522	39,437
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△68,782	133,277
その他	△171,290	83,270
小計	300,483	633,078
利息及び配当金の受取額	26	25
利息の支払額	△3,871	△3,805
法人税等の支払額	△267,280	△94,583
法人税等の還付額	—	10,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,357	544,961
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△171,273	△15,702
無形固定資産の取得による支出	△38,508	△14,812
投資有価証券の売却による収入	—	172,800
関係会社株式の取得による支出	—	△8,000
差入保証金の差入による支出	△74,292	—
差入保証金の回収による収入	742	21,274
その他	△1,029	△1,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,362	154,530
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	800,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△1,800,000	△250,000
長期借入れによる収入	1,300,000	—
長期借入金の返済による支出	△30,000	△167,421
新株予約権の行使による株式の発行による収入	840	1,440
リース債務の返済による支出	△241	△241
自己株式の取得による支出	—	△54,374
配当金の支払額	△53,529	△53,645
その他	—	△70,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	217,069	△294,840
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△37,935	404,652
現金及び現金同等物の期首残高	2,824,430	2,621,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,786,495	3,026,576

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネット 通信サービス 事業	ロボット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,790,800	1,325,064	6,115,865	141,898	6,257,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,790,800	1,325,064	6,115,865	141,898	6,257,764
セグメント利益又は損失(△)	1,052,842	△506,574	546,267	41,182	587,449

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	546,267
「その他」の区分の利益	41,182
全社費用(注)	△229,434
四半期連結損益計算書の営業利益	358,015

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネット 通信サービス 事業	ロボット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,076,784	1,364,107	6,440,891	113,025	6,553,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,076,784	1,364,107	6,440,891	113,025	6,553,917
セグメント利益又は損失(△)	762,619	△61,306	701,313	19,659	720,972

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	701,313
「その他」の区分の利益	19,659
全社費用(注)	△240,574
四半期連結損益計算書の営業利益	480,397

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、お客様にモバイルWi-Fiに限らずより幅広いインターネット通信サービスを提供しております。そのことから、第1四半期連結会計期間より「モバイルWi-Fi事業」としていたセグメント名称を「インターネット通信サービス事業」に変更しております。当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。